

KOBE YMCA NEWS

神戸青年 No.640

2015.11・12 Nov・Dec



発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7
THE YMCA神戸版 発行人/井上 真二 編集人/田村 光
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
TEL. 078-241-7201 FAX. 078-241-7479
URL http://www.kobeymca.org 印刷/わかばやし印刷

神戸YMCA
年間聖句

実に、あなたがたこそ、わたしたちの誉れであり、喜びなのです。(テサロニケの信徒への手紙 一 2:20)

●協働事業者：生活科学運営からのメッセージ

兵庫県初進出の意気込みと コラボレーションへの期待

株式会社生活科学運営

代表取締役社長 浦田 慶信



「もしこのコンペで選定され、兵庫県に最初に出店する事業となったら、それは我社の歴史を象徴するものになるなあ…」話を聞いて最初に頭に浮かんだのは、そんなことでした。

我々が創業の地、名古屋で株式会社を設立し、初の

生活支援サービス付き高齢者住宅を大阪、新町に作って約30年たちました。この間一貫して、「高齢者こそ住み慣れた街なかに住むべき」、「血縁にとらわれない互いに支えあうコミュニティづくりが重要」と訴え続け、「共助・自立」を土台においた終の住まいを提案してきました。

運営の仕方についても、積極的に地域のコミュニティビジネスとのコラボレーションに取り組んだり、生活協同組合など非営利組織との協働や、UR都市機構など公的セクターとの取り組みもするなど、独特のスタンスを貫いてきたと自負しております。ここ加納町では、そんな我社の歴史の集大成のような事業にしたいと思っています。神戸YMCAの積み上げてきた地域コミュニティという地盤、人脈が活かされる、新本部をお借りするにふさわしい事業を目指して取り組むつもりです。どうぞ宜しくお願い致します。

(仮称) 新三宮会館起工・安全祈願式

9月30日(水)秋晴れの下、加納町会館跡地にて「(仮称)新三宮会館起工・安全祈願式」が、神戸栄光教会野田和人牧師の司式、河野順さんの奏楽により執り行われました。神戸YMCA関係者、(株)生活科学運営、(株)大林組、(株)松田平田設計、オフィス東谷(株)、みなと銀行、神戸信用金庫、三井住友銀行、商工組合中央金庫、和田興産(株)などから50名が参列し、これから1年半に亘る工事の安全と、新しい会館が神様に祝福され地域から望まれる器となるように祈りを合わせました。野田牧師は式辞で「困難の中でこそ、そこで私たちを支え、私たちに新たに生きる力と希望を与えて下さる復活の主がおられる。この確信に満ちて、新会館が建てられようとしています。」とお話してくださいました。新しい会館は、第2期会館の外観を踏襲して2017年2月に竣工の予定です。期間中の安全と、近隣の方々への影響が最小限のものとなりますよう御祈祷ください。



新会館建設に当たって

20年前の阪神淡路大震災、また「失われた10年、20年」と言われる経済低迷の時代を過ごす中で、神戸YMCAの中心的会館であった三宮会館も1972年開設後40年を経て、老朽化が顕著となり、将来計画の策定が急務となっていました。様々な検討プロセスを経た後、2012年度に「三宮会館再開発基本構想」が理事会決定され、その構想に基づいて昨年9月に中央区脇浜にファミリーウエルネスセンターが新設され、この度、三宮新会館の着工を迎えることになりました。その構想の基本は、全世代にわたるウエルネス事業の新しい推進拠点を住宅地に建設すること、そして新たな使命に応えられる本館を現在地に新築するという二つの大きなプロジェクトでした。特に三宮新会館は11階建てという大きな建物とし、公益財団法人としての収益事業も支え、また高齢社会における神戸YMCAの貢献の場としても有機的に活用できる場として構想されました。結果、YMCAとミッションを共有できる協働事業者を得て高齢者住宅を併設した第5代目の神戸YMCA本館が建設されることになったわけです。2017年2月には見事な新館が完成し、学校事業やボランティア活動に集う若者と会館を利用する高齢者の交流が「すべての『いのち』が光り輝くように」という神戸YMCAのミッションに合うものとなることを願っています。(前総主事 水野雄二)

未来への提言

Christianity

いよいよスターウォーズ「エピソードVII/フォースの覚醒」が12月18日から公開されます。新聞にフォースとは「信じる力」のことであり、こうした考え方の背景にはシェイクスピアがあると記されていました。「May the force be with you.」これは私たちにやはり聖霊の力のように感じられます。

「キリストの言葉があなたを内から豊かに宿るようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、論し合い、詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい。」(コロサイ3:16) YMCAが単なるYMA (Young Men's Association) と大きく異なっているのはもちろんその間に「C」が入るからですが、「J」の「Christian-Christianity」を根本から支えているものが、この御言葉が指し示している「礼拝」です。キリスト者は、甦りの主にある希望に生きる存在です。罪がどのくらい重いのか、愛がどのくらい深いのかを知らない私たちの罪を負い、その愛の極みを示してくださいました復活の主にある希望に生きる存在、あるいはその希望を他者へと伝えていく存在です。そしてこの希望と出会う所が礼拝の場なのです。

私たちは、私たちを神さまと和解させてくださった主の御名によって共に招き集められ、御言葉と賛美と祈りによって私たちを一つの体へと固く結び合わせる礼拝を通して慰めと希望を与えられ、その慰めと希望を携えて再び私たちの日常へと、神と人へと仕える生活の場へと遣わされていきます。礼拝と生活は密接に繋がっています。YMCAの様々な働きに魅せられて、多様な背景を持った人たち、幼子から青年、そして高齢の方々までが共に招き集められ、それぞれの場で、また共同の場で持たれる礼拝を通して隔ての壁を乗り越えて、共に主の平和を生きて希望が与えられる。神さまと自分自身、そして他者との新しい出会いが与えられる。

日本基督教団神戸栄光教会牧師 野田 和人

幼稚園

積み木



幼稚園には、たくさんの積み木があります。形も大きさも様々です。

それぞれ種類別に木箱やかごに入っています。

塔や家などの建物を構成したり、木の線路や汽車、人や車、動物や植物を組み合わせて動物園。町。農場づくりを楽しんだりしています。また、カブラという桜の木で出来た積み木は、ひと箱に1,000ピース入っており薄くて軽くて扱いやすく、身体がすっぽり入ってしまうような家や、天井に届くくらいの塔を子どもの手で作ることが出来ます。組み立てクーゲルバーンという積み木は、長い積み木に溝がありビー玉を転がすことができます。立方体の積み木の面に丸い穴が開いていて、穴の面同士をうまく組み合わせると、上の穴から落としたビー玉が重ねた積み木の穴のトンネルを通して転がり落ちてきます。また傾斜や勾配をつけ玉の転がる速度に勢いをつけたり、ゆるやかにして、試したり、工夫したりしながら玉の行方を目で追います。自分のねらい通りに玉が転がってくると嬉しいものです。



積み木遊びの醍醐味は、思い思いに構成して自分だけの遊びを堪能できることです。片付けが大変なのは、言うまでもありませんが、種類別に1個たりとも失うことなく、いつも最後までしっかり片付けます。ルールや制約のない積み木遊びですが、唯一のルールは「最後までしっかり片付けること」です。

ファミリーウエルネスセンター 1周年記念プログラム

ファミリーウエルネスセンターは9月に1周年を迎えました。その1周年を記念して、様々なアニバーサリーイベントを行いました。子どもから高齢者までが集うファミリーウエルネスセンターですので、対象も幅広い世代となりました。



YMCAに集うすべての人の思いをひとつの樹に集めた「Yの樹」にはYMCAのイメージや夢が溢れました。日頃のレッスンとは一味違う「ウエルネスデイズ」はアツい3日間となりました。最終日の懇親会「夏祭り2015」にはスタッフを合わせ

ると約90名ものご参加をいただき盛会となりました。

キッズプログラムに参加している子どもたちとその家族を対象とした「秋のファミリーデー 梨狩り」には、46名ものご参加をいただき、美味しい梨をたくさん食べました。解散のときは早速、「来年、2周年のときには、何をしますか?」ときかれる保護者もいらっしゃったほど、楽しい一日になりました。



「リフレッシュプログラム オキシジェノ」ではキッズプログラム在籍の保護者の方を対象に、オキシジェノというヨガや太極拳などの要素を取り入れたコンディショニングプログラムでリフレッシュしていただきました。これからの運動へのきっかけとなれば幸いです。

アニバーサリーイベント締め括り「認知症サポーター養成講座」では、30名定員を満員で実施でき、認知症に対する理解を深めることができました。多くの方にアニバーサリーイベントにご参加いただき、一緒に1周年を祝えたことを嬉しく感じます。これからもYMCAに集う人たちが、地域や仲間とともにファミリーウエルネスセンターで活動を続けていけるよう願います。

保育園



10月3日に素晴らしい秋晴れのもと、YMCA保育園・西神戸YMCA保育園・神戸学園都市YMCAこども園のふれあい運動会が行われました。



子どもたちは元気いっぱいに身体と心を躍動させ、全身が喜びに満ちていました。そして、子どもたちを見つめるご家族や地域の皆さまの表情も柔らかで穏やかな、とても嬉しそうなものでした。

また、運動会が終わってからも園児たちは園庭でリレーごっこなどの運動会遊びをするなど心に刻まれた時間となったようです。

YMCA西神戸学童保育クラブ



YMCA西神戸学童保育は、東町小学校・小寺小学校・太山寺小学校・小東山小学校4校から子どもたちが集まり現在105名の児童が在籍しています。学童保育は、「第2の家庭」として、あいさつ、手洗い、荷物の整頓などの基本的な生活習慣や、社会的なルールを覚えること、友だち・リーダーといっしょに喜び、楽しみ、共に生きる経験を通して、他者を受け入れ、認める心、自分に責任を持つ心を育てることを大切に考えています。今年の夏は学童の家族とともに、流しそうめんを行いました。当日は竹を使ってお箸を作るお父さんの姿も見られ、日常ではできない体験を通し、たくさんの笑顔の中でお父さんやお母さん同士の交わりも生まれる行事となりました。子どもや家族の笑顔のために快く竹林で竹を切らせていただいた方、畑で作った取れたてのトマトを提供し、当日もお手伝いくださった方など、今回のイベントは、地域のみなさんからのご協力もいただいて実施することができました。



これからも家庭や地域、小学校と力を合わせ、子どもたちの歩みの場としての学童保育でありたいと思います。

感謝・寄付

ネパール地震緊急支援募金

神戸YMCAでは世界のYMCAと協力し、緊急支援募金の呼びかけを行いました。皆様から寄せられた募金460,840円は、日本YMCA同盟・世界YMCA同盟を通じて、ネパールYMCAへ捧げられます。

井上真二、大野勉、岡部芳広、KGアカシア会、藏敷竜治、小泉啓子、五味たまき、櫻井英治、サウトモコ、SHIMA SHIMA AID、白井千香、進藤啓介、タニヤマカズノリ、根岸理恵、廣瀬献児、ハラマサカズ、松田道子、松田康之、宗行孝之介、山本常雄、ワイズメンズクラブ六甲部、芦屋ワイズメンズクラブ、神戸西ワイズメンズクラブ、宝塚ワイズメンズクラブ、神戸YMCA各保育園・各幼稚園・各ランチ窓口

かけがえのない いのちと平和

～YMCA国際協力募金～

今年も秋から冬にかけてYMCA国際協力募金の強化月間が始まりました。YMCA国際協力募金は、世界119の国と地域に広がるYMCAのネットワークを通じて、すべての人々が国・民族・宗教の違いを超え、平和にいきいきと暮らすことができる世界を創り出すための国際協力・国際奉仕活動に用いられています。YMCAでは日々の諸活動をとおり、「YMCAの願い」を実現するために、全力を尽くしています。



神戸YMCAでは、地域の人々とともに、キャンプ・野外活動、ウエルネス、文化活動、チャイルドケア、地域支援プログラム、専門学校、オルタナティブスクール、平和教育、国際交流・協力他多くのプログラムを行っています。人と人との交流から学びあい、互いに理解することで心の成長を目指します。地域で創りあげる活動が、神戸だけでなく世界のYMCAにおいても未来に夢や希望をもち全人的に成長することを目的として「人といのちを育む」活動を展開しています。

世界に目を向けると、貧困、災害、紛争など、困難な生活を強いられている地域があります。YMCAはそれぞれの地域で、現地の声に耳を傾け、「本当に必要な活動は何か」を問い続けながら、困難な環境の中でも、ひとりひとりが安心して暮らせる社会を、そこで暮らす人々とともに一緒に考え、ともに協力し支えあう社会を創ります。神戸YMCA国際協力募金全体として次のような目的のために用いられています。



■2015年度 募金目標3,600千円

拠出予定（東日本大震災支援募金は含まれません）

- ◎ アジアの農村支援・青少年育成のため 1,250千円
- ◎ アフガン・パレスチナ難民支援 118千円
- ◎ 海外からの日本語学習者支援 240千円
- ◎ 国内外の国際分野における指導者育成 880千円
- ◎ 国内外の災害緊急支援 350千円
- ◎ エイズ・プロジェクト 30千円
- ◎ 日本YMCA同盟拠出金・事務局経費 732千円

どうぞ今年もYMCA国際協力募金にご理解とご協力をお願い申し上げます。

YMCAの願い

YMCAでは活動を通して次のことを学びます。

- 「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」
- 「家族、地域のひとりとして責任があること」
- 「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」
- 「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」
- 「すこやかな心と身体を育むこと」

YMCAでは、これらを実現するために「思いやり」「誠実さ」「尊敬心」「責任感」をすべての場面で大切にしています。

灯台 No.4

Light House



総主事 井上真二

「再び学んで 他のために」

嬉しいお便りをいただいたので紹介します。

〔(前略) 小生もシルバーカレッジ卒業後は地域にデビューの決意の通り当マンションでの老人会を立ち上げ現在90名の会員が発足以来ますます発展の様相です。その陰にはシルバーカレッジのクラブ活動の支援があり本当に感謝です。お陰様でグループ学習のメンバーとも3か月に1度の懇親会や同窓会並びにクラブOB会等で相変わらず飛び回っております。昨今の状況を見ますと超高齢問題を始め種々の問題が山積しておりますが、せめて貧者の一灯をささげたいと関係各位とも連携し頑張っております。(後略)〕

神戸市シルバーカレッジ(北区しあわせの村)は、豊かな経験を活かして自らの可能性を拓き、その成を社会に還元することをめざした高齢者のための生涯学習機関として平成5年に開校しました。今井鎮雄元総主事(2014年11月3日ご逝去)が長らく学長をされていたこともあり、神戸YMCAからも講師派遣等をさせていただいております。私も2年間、「健康福祉コース」3年生のグループ学習の担当講師として、学生(と言っても60歳～75歳です)の皆さんのサポーターをしてきました。この手紙はグループリーダーだった73歳の男性からで、時々このように私を励ましてくださるのです。今井元学長が学生達に常々言われていた「再び学んで 他のために」という建学の精神がこのように生き続けています。

11月3日、第18回神戸YMCA国際ショナルチャリティーランがしあわせの村で実施されます。今井さんがお亡くなりになられてから1年になります。

新会館建築募金(感謝)

(前号掲載以降～9/30現在)

小野勅紘、森田道子、岡部幸子、為広かね子、奥矢勝、原寛、宗行孝之介、岡山泰典、武田建、吉原尚美、芝川英美子、福田宏子、芦屋ワイズメンズクラブ、RONNI ALEXANDER、山本常雄、他 (敬称略)

ニュース 11月10日のきょう

9月18日(金)～21日(月)、神戸YMCAのパートナーである、中国・天津YMCA120周年記念式典プログラムが開催されました。神戸YMCAからは、武田寿子前理事長、水野雄二前総主事、井上真二総主事他、総勢9名の参加でした。現地では、天津YMCAのスタッフはもちろん、多くのボランティアの方々から温かいおもてなしをしていただき、その歓迎ぶりに驚きました。全ての参加者に配布された、式次第や英訳の原稿などを見ることができたタブレット端末(通称Y Pad)に技術の進歩を感じました。

1日目、天津へ到着後、感謝礼拝の時をもち、その後は大きなレストランで歓迎会を行っていただきました。レストランには、魚が泳いでいる水槽があり、新鮮な魚を使った料理をお腹一杯いただきました。2日目、私は、ボランティアグループメントのフォーラムにて、私の神戸YMCAで行ってきたボランティア活動、そして「チェンジ・エージェンツ」の可能性についてスピーチをさせていただきました。大きな拍手を受けたことを今もはつきりと覚えています。そして、世界各地のYMCAが行っているボランティア活動について知ることができ、たくさん刺激を受け、私自身とても勉強になりました。3日目、天津最北部の町、薊県にある盤山へ訪れました。登りはロープウェイでしたが、下りは1時間かけて歩いておりました。前日までずっと座っていることが多く、運動不足がちだったので、久しぶりに良い汗をかきました。天津での式典の後は、北京へ移動しました。北京では、天壇と呼ばれる史跡などを観光しました。夜は、北京YMCAの方々と共に食事をいただき、念願の北京ダックも食べることもできました! 高校生の私自身、このような経験は初めてで、とても新鮮で、有意義な5日間となりました。この経験を糧に、これからもたくさんの方に挑戦をしていこうと思います。

今回はこのような貴重な機会を与えて下さり、心より感謝致します。ありがとうございました。

東日本大震災復興支援活動
ボランティアアリアリダグ1
(啓明学院高等学校3年生)
四 宮 捷 平

神戸市の友好都市である天津市。その天津市に天津YMCAが創立されたのは、1985年。途中何度か活動中断の危機を乗り越えて、今年創立120周年を迎えました。天津YMCAと神戸YMCAの交流は、1996年神戸YMCA創立110周年記念式典に始めて天津YMCAのスタッフが参加したことに始まります。以降、人的交流を続け、2001年神戸YMCAはパートナーシップ締結を果たしました。



ファミリーウエルネスセンター ☎078 (241) 7202
 YMCAホームヘルパーの事務所 ☎078 (241) 7237
 ランゲージセンター ☎078 (241) 7204
 専門学校 ☎078 (241) 7203
 西宮YMCA ☎0798 (35) 5987
 三田YMCA ☎079 (559) 0075
 余島野外活動センター ☎0879 (62) 2241
 デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局) ☎078 (241) 7216
 国際・奉仕センター ☎078 (241) 7204
 ウエルネスセンター-学園都市 ☎078 (793) 7401



Information

西神戸YMCA ☎078 (793) 7402
 西神戸YMCA ☎078 (993) 1560
 須磨YMCA ☎078 (734) 0183
 YMCA保育園 ☎078 (794) 3901
 西宮YMCA保育園 ☎0798 (35) 5992
 西神戸YMCA保育園 ☎078 (792) 1011
 神戸学園都市YMCAこども園 ☎078 (791) 2955
 YMCAちとせ幼稚園 ☎078 (732) 3542
 ちとせ保育ルーム ☎078 (732) 3542
 西神戸YMCA幼稚園 ☎078 (997) 7705
 西宮つとがわYMCA保育園 ☎0798 (26) 1016

★★★★★ YMCAキャンプへようこそ! ★★★★★

YMCAが日本で教育的キャンプを始めてから95年が経ちました。キャンプでは、大自然がすぐ近くに佇んでいます。冬の冷たい空気は「温もり」を際立たせます。そんな自然の中で過ごす時間は、キャンプで出会う仲間たちと共にあります。キャンプという世界で過ごす一人ひとりが、その世界に責任を持って関わる。そんな時間が「キャンプデューティ」という名でキャンプの中にちりばめられています。キャンプではまた、自分の良いところと悪いところ、人の良いところと良くないところ、そのすべてに出会います。一人ひとりが自分の行為に愛を持って専念し、お互いが理解を持って相対することで、高貴なモラルに貫かれた一つの世界ができあがるのです。厳しく、そして温かい冬の自然は、私たちに多くのことを教えてくれるでしょう! この冬もCampでお待ちしております。



APAY 報告

第19回アジア・太平洋YMCA大会 第3回ユースアッセンブリー
 [19th General Assembly Asia and Pacific Alliance of YMCAs] [3rd Youth Assembly]

韓国・大田市にアジア・太平洋の23の国と地域からスタッフ・ユースボランティア・ワイズメンなど360人が集められ、交流や意見交換のほか、APAY(アジア・太平洋YMCA同盟)新総主事の投票などがおこなわれました。今回は、「Anchored on our Rock: Building a Sustainable Future」(基盤を強化し、持続可能な未来を作ろう!)をテーマに、「ユース」「地球市民」「環境」「平和」などについてディスカッションがおこなわれました。特に、「ユース」について多く語られ、それぞれの地域に存在するユースの力を強化していきたいと改めて提言されました。また大会に先立ち、ユース参加者による第3回ユースアッセンブリーがおこなわれ、ユースが直面している社会的なさまざまな課題(受験・就職・居場所など)についてYMCAを通じてどのような活動ができるかが議論されました。参加者:柳原謙介(職員)



世界YMCA同盟 チェンジ・エージェント 2015-2016 ピースポート研修

8月21日、横浜港に60ヶ国150名のチェンジ・エージェントが集い、ピースポートに乗ってフィリピン〜シンガポールに向けて出発しました。船上では、世界YMCA同盟のスタッフによりリーダーシップトレーニングがありまた、YMCAに熱い想いを持つ同世代の仲間と出会えたことが私たちユースにとって大きな刺激となりました。若者が集まることで自然と活気に溢れ、一人ひとりのエネルギーが社会を変革していくことを世界のユースと共に認識することができました。参加者:中道愛子(職員)



全国リーダー研修会

9月19日〜22日に、第46回全国YMCAリーダー研修会が、名古屋YMCA御岳・日和田高原キャンプ場で行われました。今年のテーマは、「種をまこう〜どえりあ花さかせやーよ〜。」実際に、テント設営などのキャンプ体験をしながら、酒井哲雄先生(神戸YMCAウエルネス事業委員会委員長)の基調講演、礼拝を通して、これからのYMCA活動について全国の仲間たちと夜遅くまで語り合いました。神戸YMCAからは、西神戸、三宮、西宮、三田、余島の各リーダー会から、総勢10名のリーダーが参加。全国の仲間とのかけがえのない出会いがあり、共に過ごした時間から多くの勇気が与えられました。2016年度の全国YMCAリーダー研修会は、神戸YMCA主管で実施いたします。



YMCAセミナー×憲法を知る集い

平和を考えるワークショップ
 「戦後70年に平和を想う ~本当の積極的平和とは~」

日時:11月13日(金)19:00~20:30(18:30開場)
 場所:日本基督教団神戸教会
 参加費:無料
 主催:神戸キリスト教青年会
 詳細はコチラ → www.kobeymca.org/news/pdf/20151113.pdf
 お問い合わせ 神戸YMCA国際・奉仕センター TEL 078-241-7204

世界YWCA・YMCA 合同祈禱週のご案内

2015年11月8日(日)~14日(土) LET THERE BE HOPE~希望あれ~

世界YMCAと世界YWCAは、毎年11月の第2週目の日曜日を起点とする1週間を合同祈禱週とし、1904年以来毎年、共に祈りを一守ってきました。この一週間は、YWCA・YMCA運動が、よりよい世界を実現するための基盤となる魂のビジョンを再確認するための一週間です。国内外で平和が脅かされ、社会の構造により小さくされる人々を生み出す世界において、どのように変革をなすことができるのか。世界のつながりの中で祈り、神さまとの対話の中で、進む道を確認できればと願います。

第57回 神戸市民クリスマス

12月11日(金)
 メイン会場:日本基督教団 神戸教会
 テーマ:「心あたままるクリスマス」

- I. キャロリング 17:00~
教会や街角でクリスマスキャロルを歌い会場へ
- II. 子どもプログラム 17:30~
パイオルガンの魅力、ペープサートなど
- III. ほっとタイム 18:00~
温かい飲み物とスナックなど
- IV. 祈りと祝福のとき 19:30~
クリスマスメッセージ・クリスマス曲の合唱など
- V. 青年のつどい 20:30~
クリスマスパーティー

お問い合わせ
 神戸市民クリスマス実行委員会
 TEL 078-241-7201 (神戸YMCA内)

神戸YMCA国際協力募金

街頭募金のお知らせ

「心を届けよう
 ~みんなが笑顔になるために~」

すべての人々が、国・民族・宗教の違いを認め合い、平和に生き生きと暮らすことができる社会を創り出すための国際協力・地域奉仕活動に用いられます。街頭にて募金を呼びかける活動にご協力ください。

日時:2015年12月13日(日)
 14:00~16:00
 (ご協力いただく時間は10分でも結構です)

場所:神戸元町大丸前
 (集合・解散:神戸元町大丸北西
 13:50集合/16:10解散)

お問い合わせ
 神戸YMCA国際・奉仕センター
 TEL 078-241-7204

神戸YMCA ベルクワイアー クリスマス・コンサート2015

2015年12月23日(祝) 午後2:30開演(開演時刻にご注意ください)

場所:灘区民ホール チケット:1,800円(当日券2,000円)



★★ 個人消息 ★★

<採用>

- 10月1日付 西 正行さん(太山寺児童館)
- 北本 紗耶子さん(西宮つとがわYMCA保育園)